

令和5年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和7年3月28日

団体所在地 広島県庄原市東城町森 2668 番地 2
団体の名称 NPO 法人 やわた創生プロジェクト
職・氏名 理事長 竹川 順子
(施設名 ぽんぽこ山保育園)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)

- ・湯谷エドヒガン桜散策 ・川鳥春祭り参加
- ・じゃが芋植え ・田んぼ代かき
- ・花祭り (花の寄せ植え)
- ・田植え ・野菜の苗植え (さつま芋・すいか・枝豆・こんにゃく・黒豆・トウモロコシ)
- ・訪問の日 (手作りカレンダー配布)
- ・てごの日 (森の牧場 牛の餌やり)
- ・ぽんぽこ茶づくり ・かまどの日
- ・ブッポウソウ巣箱作り
- ・徳雲寺坐禅体験 (東城保交流)・玉ねぎ収穫

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)

- ・かまどの日 ・森のカフェ八の市
- ・てごの日 (森の牧場 牛の餌やり)
- ・トウモロコシ収穫 ・じゃが芋収穫
- ・ぽんぽこ夏祭り (盆踊り・バードコール作り)
- ・道後山登山 (年長児親子)
- ・訪問の日 (手作りカレンダー配布)

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)

- ・ぽんぽこミニ運動会
- ・てごの日 (森の牧場 牛の餌やり)
- ・かまどの日 ・芋ほり ・稲刈り
- ・てごの日 (トマト)
- ・豆こなし ・秋祭り参加 (森・川鳥)
- ・徳雲寺坐禅体験 (東城保交流) ・黒豆収穫
- ・ハロウィン
- ・ぽんぽこ秋祭り (子ども神楽・紫水高校神楽・バンド演奏・樽御輿行進)
- ・八幡収穫祭参加 ・ぽんぽこ発表会
- ・訪問の日 (手作りカレンダー配布)

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・ボランティアフェスティバル参加
- ・かまどの日
- ・訪問の日 (手作りカレンダー配布)
- ・てごの日 (森の牧場 牛の餌やり)
- ・雪遊び ・ソリ滑り ・豆まき (近隣訪問)
- ・フラワーアレンジメント
- ・ありがとうお茶会
- ・思い出アドベンチャー (クッキング)

【4月～6月】



ブッポウソウの巣箱作り

保育園の周りには絶滅危惧種でもある、ブッポウソウが毎年やってきます。沢山のブッポウソウが飛来し、この地で子育てしてくれるよう、地域の方やサポーターさんと一緒に、新しく4個の巣箱を作り、地域に配布し設置してもらいました。子ども達は「気に入ってくれるかな?」「入ってくれるかな?」とワクワクしながら慣れない釘や金鋸を使って作っていました。数週間後、「来たよ!」「巣箱に入ってるよ!」と報告がありみんなで喜びました。子どもたちが「地域の自然を守る」という意識を持ち、あつて当たり前ではなく大切にするから守られていくことを知る良い活動となりました。

【7月～9月】



ぼんぼこ夏祭り

親子でバードコール作り体験を行い、山へ持って行って鳴らすなど、自然活動へ繋げて行きました。また、毎年夏祭りで文化の継承活動として、地域に伝わる小左衛門踊りを保護者や地域の方と一緒に踊ってきました。だんだんと踊れる人が少なくなる中で、今年は盆踊り愛好会の方を招き一緒に踊っていただきました。また、地域の盆祭りに園児が参加するなど、地域交流に繋げることが出来ました。

最後にみんなでスイカ割を行い、暑さを吹き飛ばす楽しい活動となりました。

来年は「親子で小川での遊びがしたい!」という声も聞かれ、保護者の意見を取り入れながら、幅広い活動へ繋げていきたいと思っています。

【10月～12月】



ぼんぼこ秋祭り

西城紫水高校神楽部の皆さんの迫力ある神楽を見せてもらった後、園児たちが「ちびっこ神楽」を披露しました。それぞれの役になりきって舞う子どもたちの真剣な様子や可愛い仕草に、沢山の拍手を頂きました。

あいにくの雨で室内となりましたが、遊戯室でオカリナの演奏を聴いた後、遊戯室を樽御輿で回りました。園児たちが保育園のぼんぼこ畑で育てたさつま芋は、サポーターさんたちが焼き芋にしてく下さり、来て下さった全員へ配ることが出来ました。

紫水高校の学生さんや地域の方、オカリナの皆さんとの交流、文化の伝承や世代間交流、地域交流がしっかりできた一日となりました。

【1月～3月】



森のカフェ 八の市

各月で行われる地域のフリースペース「森のカフェ」八の市で、子ども達みんなが作った「ぼんぼこ茶」や「花の種」、「さつま芋」、「ぼんぼこ卵」の販売をしました。「いらっしゃいませー！」と子ども達の元気な声が、路地に響きました。お茶も種も卵もさつま芋も本物を使って、お金のやり取りをする本物体験です。みんなで声を掛け、品物を渡す係、お金を受け取る係など、それぞれが役割を交代しながら体験することが出来ました。自分たちが作ったものや育てたものを買ってもらおうという良い体験となりました。売上金は年長児が買い物に行きクッキングをしてみんなに振る舞う 思い出アドベンチャーとして、楽しい活動へ繋げていっています。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

・ 職員の資質向上について

＊ひろしま自然保育推進交流会（第1回）に参加し、自然保育実践園（奈良県）の活動を見ながら、作った経緯や成り立ちをしり、改めて自然保育の良さなど学ぶことができた。

＊ひろしま自然保育アドバイザーの菊間先生を招いて、職員・保護者・NPO サポーターで自然研修を行った。毎日生活や遊びの場としている身近な場所に、まだまだ遊びを広げるヒントが沢山あることを知ることが出来た。

運動会では自然遊びを取り入れた親子競技を行い、保護者にとっても自然に触れる良い機会となった。

・ 地域との関わりについて

＊月1回の定例作業で園庭や園庭周辺の草刈りや溝上げなど環境整備の協力

＊田植えの準備や田植え・稲刈りの指導や準備

＊野菜の苗植えの準備や指導

＊カブトムシハウスの準備や幼虫搬入の協力

＊春祭り（花の寄せ植え）・秋祭り参加の協力

＊ブッポウソウの巣箱づくり

＊秋祭りでは地域の方を招き、園児による子ども神楽の披露を行い、西城紫水高校神楽部の神楽、地域のオカリナグループによる演奏など、町内の音楽グループや高校生との交流を行った。また、園で収穫したさつま芋を焼き芋にして全員に振舞い大変喜ばれた。

＊てごの日（森の牧場の牛の餌やり・トマト収穫）の協力

＊ハロウィンでは、子ども達が仮装して地域へ出かけ、お菓子を頂くなどして地域と交流した。

＊節分では子ども達が鬼と一緒に地域を回り、豆をまいて地域のお宅の厄払いをし交流をした。

・ 保護者との関わりについて

＊毎月1回の定例作業への参加

＊ぽんぽこ春祭り・ぽんぽこ夏祭り・ぽんぽこ秋祭りへの参加、花や自然体験を親子で楽しんだ。

＊子ども達が園で収穫したさつま芋など、持ち帰った野菜を料理してもらい親子で味わってもらった。

・ その他

＊毎月「訪問の日」とし、子ども達が手作りしたカレンダーとおたよりを持って、地域の一人暮らしの方やお年寄りのお宅を訪問した。「元気が出る！」と楽しみに待って下さっている活動となっている。

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

URL	
-----	--